

特別支援推進委員会 ニュースレター

特別支援にかかわる人材育成いよいよ本格的にスタートしました！！

はじめまして、特別支援教育推進委員会です。今年度から、私たちの活動をお知らせいたしたく、お手紙をお届けすることになりました。よろしくお願いいたします。

さて、特別支援教育制度が本格的に始まったのは、平成19年4月でした。今年は10年目の記念の年です。宮城県では、東日本大震災の復興支援をきっかけに広がった支援学校への外部専門家を派遣する事業が6年目となりました。宮城県内の子どもたちの健やかな育ちに作業療法士がお手伝いできればと思っています。

士会員の皆様には、本委員会の活動を知っていただき、子どもの領域に関心を持っていただければと思っています。研修会の報告や発達領域のトピックなどをお届けしていきます。

【H28年度研修会報告】

平成28年8月11日に石井孝弘先生（帝京科学大学）をお招きし、一般向けおよび作業療法士対象の研修会を開催しました。エルソーラ仙台を会場に行いましたが、一般向けは多数の受講申し込みがあり一部お断りをするくらいの盛況ぶりでした。少しずつ作業療法士の認知度が高まっているようですね。

人材育成プログラムも始動しました。3回シリーズ（10月22日、12月10日、2月11日）で実施しました。基礎的内容を改めて確認する機会となり有意義な研修会になったと思います。次年度は少し事例検討も予定しています。



ワンポイント豆知識

「合理的配慮」って知っていますか？

障害者の権利に関する条約（第2条）に定義された「合理的配慮」は、H28年4月に施行された障害者差別解消法で、具体的に教育、行政、事業者などでの対応を求めています。

教育における「合理的配慮」とは、個別に対応する配慮、環境に応じた配慮、障害のある子、障害のない子の双方に「公平（合理的）な配慮」であり、将来につながる配慮を指します。そのような観点から、近年はユニバーサルな授業づくりが教育現場には求められているのです。



【平成29年度の活動予定】

- ・他職種向けおよびOT向け研修会（8月上旬予定）
- ・人材育成プログラム研修会（3回シリーズで検討中）

発達障害領域以外の方も是非ご参加ください。